

NHK海外情報発信強化に関する検討会（第5回）議事要旨

1. 日時

平成26年12月12日（金）16時00分～18時00分

2. 場所

総務省7階 省議室

3. 出席者

（1）構成員

多賀谷座長、青山構成員、岡構成員、高島構成員、原構成員、マリ構成員、山本構成員

（2）オブザーバ

岡庭外務副報道官（外務省）

（3）プレゼンテーション

岡構成員、原構成員

（4）総務省

桜井総務審議官、福岡大臣官房長、今林大臣官房総括審議官、安藤情報流通行政局長、渡辺大臣官房審議官、椿総務課長、長塩放送政策課長、湯本情報通信作品振興課長、金澤国際放送推進室長、吉田放送政策課企画官

4. 議事要旨

（1）プレゼンテーション

岡構成員より、資料5-1-1に基づき放送コンテンツ海外展開促進機構（BEAJ）について、原構成員より資料5-2に基づきBBCワールドサービスとワールドニュースについて説明が行われた。

（2）意見交換（構成員の主な発言は以下のとおり）

【青山構成員】

- ・ この検討会の一つのアジェンダは、少なくとも背景としては、歴史問題で中韓に日本が不公正に痛めつけられていることがあると思う。BBCは、先の大戦当時に悪とされたファシズムに対して善とされた自由主義という土台の上に今も立っている。日本が直面している、誤解されているのではないかという課題をめぐってフェアに発信するために、国家戦略をもってその土台を作る必要がある。
- ・ 中国が存在感を増し日本は薄れているという話ばかりを聞くが、私は世界を歩いていて、自由と民主主義を確立したアジアの国として日本がどう考えているかは注目されていると実感している。そのポジティブな視点から、攻めの発信も必要になるだろう。

【岡構成員】

- ・ これから新たに作るコンテンツについては、すべての権利を製作委員会が持つことを念頭に置いているので権利処理は難しくない。
- ・ BBCの説明を聞くと、放送の国家戦略性を強く感じる。
- ・ 我が国では、国家戦略の実現に向けて、放送という大変効果的なツールを使っていなかった。影響力が大きい放送というものを活用しない手はない。

【高島構成員】

- ・ 個々の放送局の取組により、東南アジアにおいて日本の番組が流れるようになってきている。
- ・ NHKでは現在、語学要員としては外国人を雇っているが、日本人が圧倒的に多い。NHKの国際放送を外国人にとって受け入れやすくするためにも、外国人を多用し、重用してもいいのではないか。

【多賀谷座長】

- ・ 国家戦略という話が出てきたが、日本の国際放送では、ニュースだけではなく情報番組のコンテンツも考えていかねばならない。

【原構成員】

- ・ 我が国としても方向性・戦略性を持って進めていくのがいいと思う。ただ、BBCほど政府とつながるのはどうかと思う。
- ・ NHKに来ている外国人スタッフが、その後国連や世界各国の放送局等の要職に就いたときに味方になってくれる。そういった戦略的なことも考えてはどうか。

【マリ構成員】

- ・ NHKワールドTVは今後、どういう組織でやっていくのかNHKの中でも見えていないのではないか。
- ・ 今の日本について何を世界に示していくのか、きちんと国家戦略を作った上で、コンテンツを吟味することが重要。
- ・ 国家戦略というのは、単にメディア戦略だけではなくて、日本の企業や文化等を国がどうサポートしているかなど、すべてワンセットとなって発信していくことだが、その土台がしっかりしていないのではないか。